

経験を伝え、防災力を向上するために 芋川砂防フィールドミュージアム

●砂防フィールドミュージアムとは

独特の風景や歴史文化、災害との闘いを物語る砂防施設、自然と共にくらす人々の姿などが見られる地域をまるごと「博物館」に見立て、地域に人を呼び、活性化と防災力の向上に役立てようという取り組みが“砂防フィールドミュージアム”です。

災害を克服した長い歴史を持つ地域などで、住民と行政が連携して進めています。

芋川流域は、新潟県中越地震による土砂災害跡地と砂防施設を集中的に見ることができ、人々の想いや物語に触れることのできる砂防フィールドミュージアムです。

●芋川流域での砂防フィールドミュージアムづくり活動



観光ガイドのルートで砂防も紹介することを検討するワークショップ



小中学校教師の砂防見学会



砂防ガイドのための現地講習会
左：梶金地区にて
右：南平地区にて

●各地の砂防フィールドミュージアム



万内川砂防フィールドミュージアム

新潟県で最初に砂防が行われた地で親子で楽しめる防災啓発イベント等を定期的に行っています。



主な砂防フィールドミュージアム



アカタン砂防エコミュージアム

明治時代の大災害を住民総出で工事行っ
て克服してきた地で住民が施設を発掘し、誇り
を持って保全活動や情報を発信しています。

駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム

かつて土石流が頻発していたエリア周辺
ガイドツアーなどを展開しています。
上はそのパンフレット。



まさかの時、自分の身を守るには・・・ 土砂災害を知ろう！

●土砂災害とは？

土砂の移動が原因となって発生する自然災害を土砂災害と呼んでいます。
土砂災害は、発生のおよび土砂の動き方から、大きく「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」の3つに分類することができます。

◆がけ崩れ

水分を多く含んだ急斜面が突然崩れ落ちる現象。地震で起きることもある。



速いスピードと大きな破壊力を持つ。一気に崩れるため、逃げるのが非常に難しい。

◆地すべり

粘土などのすべりやすい層の上にある土塊が地下水などの影響で動き出す現象。



緩やかな斜面が広い範囲でゆっくりと動いて、大きな被害を引き起こす。

◆土石流

崩れた土砂や谷にたまった土砂が雨や川の水とともに一気に流れ出す現象。



スピードが速く、破壊力も大きい。逃げる時には急いで川から離れ、高いところへ。

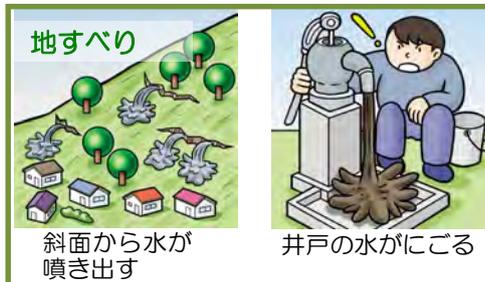
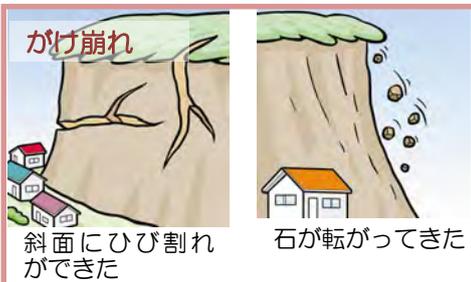
●こんな時は気をつけよう

土砂災害には前ぶれが見られることがあります。

「いつもとちがう」「なにか変だ」という現象に気づいたら、すぐに役場や消防署、近所の人などに知らせ、安全な場所に避難することが必要です。

●日頃の備え

土砂災害から身を守るために最も大切なことは「**早めに避難する**」ことです。



避難場所を調べておく
家族の連絡先を決めておく



非常持出し袋を用意する

-芋川砂防フィールドミュージアム-

地域復興の礎となった砂防施設

凡例

- 砂防施設設置箇所
- 地すべり対策事業対象地区
- 国道
- トンネル
- その他の道路
- 水 流



8 楢木

河溝が曲がり、土砂が溜まりやすくなった楢木地区。道路と砂防えん堤を整備しました。

楢木前後 砂防施設施工時 現状

6 東川

羽黒トンネルからの崩落が通っている東川地区。崩落を守るため砂防えん堤を整備しました。

施工当時の羽黒トンネル崩落部 ブロック式えん堤施工時 現状

4 梶金(下之沢)

大規模な地すべりによって被害を受けた梶金集落。東溪の安全を確保し復興を支援するために地すべり対策を行いました。

地すべり対策施工時 現状

5 神沢川

神沢川地区では上流にたまった不安定土砂を抑えるため、砂防えん堤1基を施工しました。

砂防堤建設施工前 セル式えん堤施工時 現状

9 十二平

河渡防壁を起こした不安定土砂の流出を抑えるため、砂防えん堤1基を整備。本線沿下流部の砂防えん堤です。

竣工当時 砂防施設施工時 現状

12 塩谷川

長岡市川口木沢地区を流れる塩谷川では地震で多くの土砂が崩れ発生。この不安定土砂を抑えるため、砂防えん堤を整備しました。

竣工前の現場付近 ブロック式砂防えん堤施工時

2 寺野

(砂防えん堤) 寺野地区では、大規模な地すべりにより土砂ダムが発生。下流に3基の砂防えん堤を整備しました。

(法面) 寺野地区の法面対策では、現地産の樹木材をチップ化して法面に吹きつけ、元の植生に戻りやすくしました。

地すべり被災直後 砂防施設竣工時 施工前の法面 対策工事施工時 緑に覆われた法面(現状)

7 南平

南平地区は、地震による崩落で土砂ダムが発生。その不安定土砂を抑えるため砂防えん堤を施工しました。

施工前 セル式砂防えん堤施工中 現状

11 西願寺

高瀬川川げ土砂急激増減です。地震により上流に多くの崩落が確認されたため、砂防えん堤を整備しました。

施工前の現場 ダブルウォール式砂防えん堤施工時

10 冷子沢川

普段は水量の少ない冷子沢川ですが、地震により上流に不安定土砂が溜積。この対策として砂防えん堤を整備しました。

施工前の平川との合流部 ダブルウォール式砂防えん堤施工時

1 東竹沢

(砂防えん堤) 東竹沢地区では、大規模な地すべりにより土砂ダムが発生。土砂を抑える砂防えん堤2基を整備しました。

(法面) 地すべり起こした斜面の不安定土砂を全て除去し、崩れを防止する工事を行い、種子を吹付けました。

地すべり被災直後 緊急のポンプ排水時 奥竹沢1号・2号砂防えん堤(現状) 砂防施設竣工前 法面工事前 緑に覆われた法面(現状)

3 竜光

宇川下流部に位置する竜光地区では、出水に備え土砂を受け止める遊砂地を施工しました。

遊砂地工事施工時 遊砂地竣工時 現状